

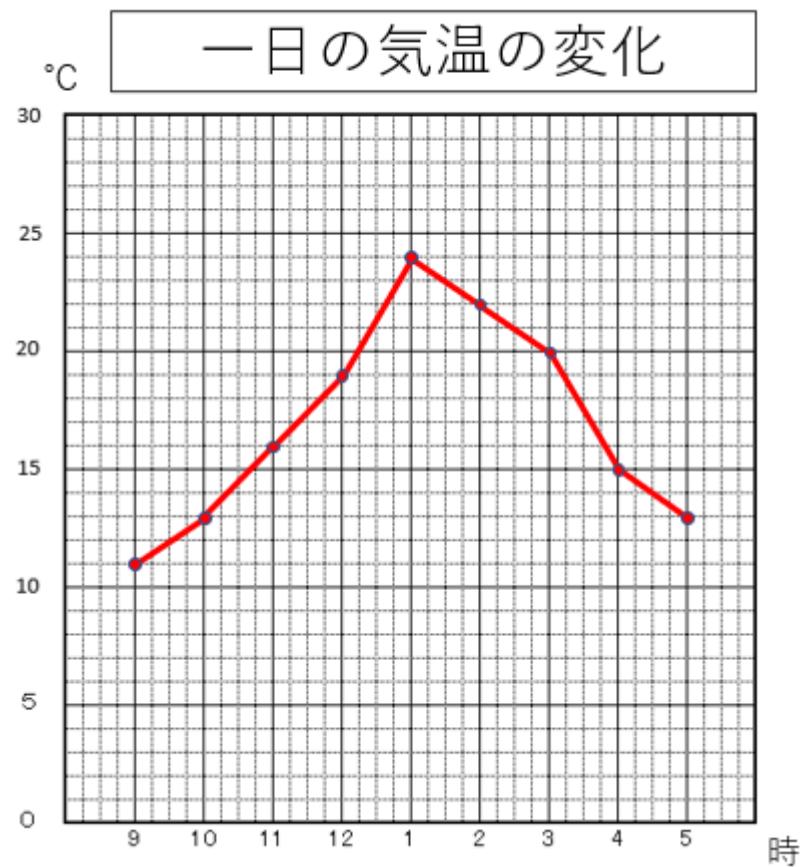
折れ線グラフ その1(グラフの読み方)

4年()組 名前()

右のグラフは、1日の気温の変化を表したグラフです。

このようなグラフを、
折れ線グラフといいます。

このグラフを見て、以下の問題を考えてみましょう。



1. たてのじくは、何を表していますか？ ()
2. よこのじくは、何を表していますか？ ()
3. たてのじくの1めもりは何°Cですか？ ()
4. 9時の気温は何°Cですか？ ()
5. 気温が 15°C なのは、何時ですか？ ()
6. 温度が一番急に上がったのは、何時から何時の間ですか？
() 時から () 時の間
7. 温度の上がり方が一番大きいところは線のかたむきがどうなっていますか。
()

折れ線グラフは、変化の様子を見たいときに使います。

折れ線グラフ その2(グラフのかきかた)

4年()組 名前()

1. 教科書49ページを開けましょう。

真ん中に書いてある「折れ線グラフのかきかた」を読み、気温の変化の表を、折れ線グラフにして教科書に書きこみましょう

2. グラフを見て気がつくことを、下の□の中に見つけられるだけ書いてみましょう。

3. 教科書50ページを開けましょう。

5月15日の気温の変化が折れ線グラフになっています。

そこに、5月16日の気温を、表を見て折れ線グラフにして、かきましょう。

4. グラフを見て気がつくことを、下の□の中に見つけられるだけ書いてみましょう。

折れ線グラフ その3(折れ線グラフとぼうグラフのちがい)

4年()組 名前()

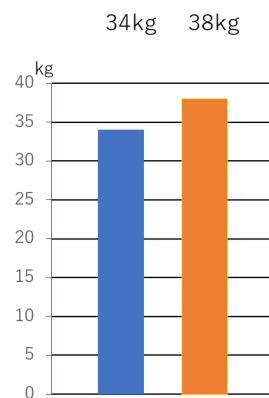
右の二つのグラフを見てみましょう。

どちらもぼうグラフですが、ぼうの先を線でつないで、折れ線グラフにしてよいのはどちらでしょう？

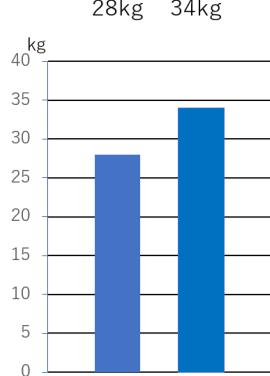
左のグラフは、A君とB君の体重です。A君の体重がB君の体重に変化したわけではないので、その間を線でつなぐことはできません。

右のグラフは、A君の去年と今年の体重です。去年から今年へと体重が変化したので、その間を線でつなぐことができます。

A君とB君の体重



A君の去年と今年の体重



変化を表すものは、折れ線グラフを使います。

次の問題をやってみましょう。

折れ線グラフがいいものには○ ぼうグラフがいいものには×をつけよう

- () 弦巻小の各クラスの人数を表す。
- () 生まれてからの毎年の自分の身長を表す。
- () クラスの子の身長を、高い順に表す。
- () 火事が起きた原因を、種類別に表す。
- () 世界の国に住んでいる人の数を国ごとに表す。
- () 世田谷区の毎年の人口の変わり方を表す。
- () 病気の人の1週間の体温を表す。

折れ線グラフ その4(折れ線グラフのめもり)

4年()組 名前()

1. 教科書52ページを開けましょう。

ハムスターの体重の変化を上のⒶのグラフ用紙に表します。

①たてじくの目もりの□に数字を入れましょう。

②たてじくの一めもりは、何グラムですか。

() グラム

③教科書にグラフをかいてみましょう。

2. 同じデータを下のⒷのグラフ用紙に表します。

グラフの下の方に波線があります。これは0gと30gのあいだをはぶいていることを表しています。

①たてじくの一めもりは、何グラムですか。

() グラム

②グラフをかいてみましょう。

上のグラフと比べると、下のグラフの方が変化の様子が大きく見えるようになりましたね。このように変化の様子を見やすくするために、とちゅうのめもりを、はぶくことがあります。

3. 教科書53ページを読みましょう。

①初めのグラフでは、まだ体温の変化の様子が分かりにくいで、下の二つのグラフ用紙にそれぞれにかいてみましょう。

②グラフがうまくかけるのはどちらでしょうか？

よいと思う方に○をつけましょう。

Ⓐ

Ⓑ

折れ線グラフのまとめ

教科書54ページから57ページをやりましょう。

答えは、教科書に書き込んでください。